

(自ら進んであいさつしよう)の行動支援計画



STEP1 教える・高める行動を決めましょう

・自ら進んであいさつをだれとでも行う。

いい行動の例

- ・自分から先に・相手に届く声で
- ・相手の顔を見て・会釈して

悪い行動の例

- ・不必要に大きな声
- ・相手に「聞こえない声・挨拶をかえさない。

生徒に伝える「この行動を学ぶ理由」は何ですか？

- ・学期始め、朝の登校時の挨拶でコミュニケーションをとる。
- ・自ら挨拶することが気持ちよく1日をスタートさせる。

担当部会または委員会
(生活委員会)

担当教員
(水口・松本)

担当生徒
(鍵元・生活委員会の生徒)

行動を
行うきっかけ・状況

先行事象

A



行動

B



行動が繰り返され
やすくなる出来事

結果

C

STEP2 生徒に行動をしようとするきっかけ(手がかり)をどのようにつくりますか？

- ・全校への活動の周知
- ・生活委員会による動画の作成と良い例と悪い例の共有と内容の説明。(9月1日の朝礼時に)
- ・執行部や生活委員会による挨拶運動(強化週間)
- ・先生方からの望ましい挨拶。

STEP3 行動をどのように記録しますか？

記録は取り組み前と最中、そして取り組み後に行います。

(いつ) 登校時 8:00~8:25

(どこで) 生徒玄関

(だれが) 生徒玄関(各学年先生1名または生活委員会1名)

(何を) 自ら挨拶をした人をカウント

(いつまで) ベースチェック:9月4日~8日(火・木)生活委員会生徒強化週間:9月11日~15日、19日~22日(火・木)

STEP4 どのように生徒にフィードバックを行いますか？

- ・できた生徒にOKと声掛け、1階掲示板にシールを自分で貼る。
- ・経過をグラフで視覚的に確認する。
- ・先生からのポジティブフィードバック(主に声掛け)